

## 副会長挨拶

東山会 副会長

酒井 康彦

昭和 53 年卒業(第 37 回)



### ご挨拶

平成 28 年度に副会長という重職を拝命し、今年が 2 年目になります。土屋総二郎会長のもとで、山田陽滋庶務理事を初めとする理事の方々と事務局担当職員の伊藤恵子様とともに東山会の行事に係らせていただいております。日本民族の特徴は、「恩誼を知る」ことであるといわれております(新渡戸稲造「自警録」第十八章)。1950 年に発足した東山会の歴史の重みと諸先輩方から受けた脈々たる有形無形のご恩を思うとき、感謝と喜びの念を深める次第でございます。任期はあと半年あまりとなりましたが、私自身もなにかしら皆様のお役に立てればと、微力を尽くしてまいりたいと思っております。

東山会の行事は毎年恒例になっており、平成 28 年度は 5 月に関東支部総会・懇親会、7 月に第 16 回イブニングサロン、11 月に関西支部総会・懇親会、12 月に第 17 回イブニングサロン、3 月の卒業式の日、東山賞授与と新入会員歓迎会と順調に企画、実施されました。平成 29 年度に入ってから、5 月には関東支部総会・懇親会が開催されましたが、6 月に開催予定であった第 11 回「東山へ帰る日」につきましては、申込人数が僅かのため残念ながら開催できませんでした。今後は、11 月 11 日に関西支部総会・懇親会、12 月 14 日に第 18 回イブニングサロン、来年 1 月 27 日には総会、新年同窓会および特別講演会、そして 3 月 26 日の卒業式における東山賞授与と新入会員歓迎会が予定されております。

現在は、第 18 回イブニングサロンと総会・新年同窓会・特別講演会に向けて鋭意準備中でございます。また、6 月に実施できなかった「東山へ帰る日」の代替行事も検討を始めております。今回のイブニングサロンは日本機械学会東海支部との合同企画として実施され、キャリア技研(株)の富田茂様、および三菱自動車工業(株)の久米健夫様のご講演が予定されております。また、新年同窓会においては、トヨタ自動車(株)の吉田守孝様(トヨタ自動車名大会会長)に特別講演をお願いしております。これらの企画内容は順次ホームページ等で皆様にお知らせする予定です。ぜひ奮ってご参加賜りますようお願いいたします。

さて、本同窓会の母体である名古屋大学工学部機械系学科・大学院機械系専攻は平成 29 年 4 月より工学部・工学研究科の改組に伴い、その組織や教育内容が大きく変わりました。工学部・工学研究科全体の改組の概要につきましては、昨年の会報にて新美智秀工学研究科長・工学部長(名古屋大学工学部第 36 回卒業生)の「学内近況」で報告されておりますが、機械系学科・専攻としては、従来の機械・航空工学科(機械システム工学コース、電子機械工学コース、航空宇宙工学コース)のコース別教育が廃止され、機械・航空宇宙工学科として 1 年生から 4 年生まで一括して教育を実施するということになりました。従来方式では、学生諸君は機械・航空工学科として入学し、2 年次で各コースに別れ、別々のカリキュラムで教育を受けておりましたが、本年度からは入学から卒業まで同じカリキュラムで授業を受けて、卒業することになります。大学院の方は、上記機械・航空宇宙工学科の上に機械システム工学専攻、マイクロ・ナノ機械理工学専攻、航空宇宙工学専攻の 3 専攻が設置されることになりました。学部や大学院の内容は HP (<http://www.engg.nagoya-u.ac.jp/>) をご覧いただければ幸いです。東山会では、この改組に伴い、従来の機械系同窓会「東山会」、電子機械同窓会「伊吹会」、航空系同窓会「高翔会」の将来の形について議論が始まっております。今後、伊吹会、高翔会との調整が行われ、名古屋大学機械航空系同窓会として将来大きく発展していくことが期待されます。

東山会は多くの方々によって支えられております。東山会の運営に係わっておられる方々や各種行事にご参加していただいた方々と接しておりますと、ふと「唯和気熱心な人のみ、その福も亦(また)厚く、その沢(うるおい)も亦長し」(洪自誠「菜根譚」前集 73 項)ということばが思い出されました。東山会同窓会の皆様のご幸福を願いつつ、本会の発展のために皆様の多大なご理解、ご支援を賜りたくお願い申し上げます。